

極秘

昭和十八年二月二十九日 附後

大東亞戰爭完遂ノ爲ノ對支處理根本方針ニ基ク
諸施策ノ實施時期區分大綱腹案

第一、時期區分

大東亞戰爭完遂ノ爲ノ對支處理根本方針ニ基ク諸施策ノ速ナル結
實ヲ圖ル爲之カ實施ノ時期ヲ概ネ左ノ如ク區分シ確實ナル實行ヲ期
ス

第一期 本年二月十日（舊正直後）迄

第二期 本年三月三十日（國民政府遷都紀念日）迄

第三期 本年七月末迄

第二、各期ニ於ケル實施事項概要

A 70.0.9-8

甲、第一期

一、帝國專管租界還付實施ニ關スル委員ノ任命

二、治外法權撤廢ニ關スル委員ノ任命及共同專門委員會ノ設置

三、華北政務委員會各總署暫行組織條例ノ改正

△ 四、外債及賠償金華北各海關分擔金ノ流用割合ノ決定

五、華北ニ於ケル蠟旗揭揚制限ノ解除

六、汪主席ノ新民會名譽會長推戴

七、全國經濟委員會及新國民運動促進委員會（ノ華北側委員ノ參加

八、中興、大紋口（新泰炭坑ヲ除ク）、磁縣、山西及柳泉ノ五炭
坑ノ軍管理解除及之カ經營ニ當ル合辦會社ノ設立

九、國民政府（ノ敵產移管ニ關スル第一次通告

△ 0.45-華北
0.45-華東
0.1-華南

一〇 中華民國國旗添付布片ノ撤去——
滿

乙 第二期

一 帝國專管租界還付實施

二 厦門共同租界回收實施

三 北京公使館區域回收實施

四 華北ト中央政府トノ關係調整——方針ハ快色ニテ充實ハスルニ在リ

五 蒙疆ノ地位（蒙疆ト國民政府トノ關係）ニ關ヘル方針ノ再確立

蒙疆ト華北トノ關係調整

六 武漢及厦門ト中央政府トノ關係調整

七 省政府以下ノ地方政府ニ對スル我方指導機構ノ整理及二級政

府ノ下級政府ニ對スル政令ノ貫徹助長ニ關スル措置

八 國民政府ニ對スル敵產移管ニ關スル第二次通告

九 國民政府ノ財政自彊及之ニ對スル我方援助ニ關スル具體的方

策ノ樹立及其ノ實施促進（支那側措置ヲ含ム）

一〇 支那側ノ生産増強ニ關スル具體的方策ノ樹立及其ノ實施促

進（支那側措置ヲ含ム）

一一 支那側官民ノ戰爭目的ニ對スル認識ノ普及促進（支那側措

置ヲ含ム）

一二 支那側ノ治安維持強化ニ關スル具體的方策ノ樹立及其ノ實

施促進（支那側措置ヲ含ム）

一三 占據地域内緊要國防物資ノ重點的且效率的取得促進

同時ニ實施

- 5
- 一四 敵方物資ノ積極的獲得及戰爭必需物資ノ對敵流出阻止ニ關スル具體的方策ノ樹立及其ノ實施促進
 - 一五 物資統制ノ合理化ニ關スル具體的方策ノ樹立及其ノ實施促進
 - 一六 一般物資ノ生産配給等ニ付テノ支那側ノ參加均霑ニ關スル具體的方策ノ樹立及其ノ實施促進
 - 〇一七 物資買上價格ノ適正化ニ關スル具體的方策ノ樹立及其ノ實施促進
 - 一八 合辦會社ノ調整
 - 一九 國論指導及對外啓發ノ強化
- 丙 第三期

- 6
- 一 上海共同租界回收實施
 - 二 治外法權中諒稅特權ノ調整及内地開放ノ一部實施
 - ✓ 三 租界還付及治外法權撤廢ニ關スル第三總働ノ同調實施
 - 四 第一期及第二期未済ノ華北ト中央政府トノ關係調整完了
 - 五 第二期未済ノ蒙疆ト遼民政府及華北トノ關係調整完了
 - 六 海南島ト中央政府トノ關係調整
 - 七 治外法權中警察權及裁判權等撤廢準備研究續行
 - 八 第一期及第二期實施諸施策ノ結實促進
- 地域の區分次の一部實施ノ爲メ

研究項目概要

昭和十八、三〇

八、三〇ニ付後

第一、租界還付及治外法權撤廢等ニ關スル協定ノ實施ニ關スル事項

一、專管租界還付ニ關スル事項

二、上海共同租界及廈門共同租界回收ニ關スル事項

三、北京公使館區域回收ニ關スル事項

四、治外法權撤廢及内地開放ニ關スル事項

五、第三國關係事項

第二、地方的特殊性ノ調整及中央政府ノ地方政府ニ對スル指導強化

ニ關スル事項

一、華北ト中央政府トノ關係調整ニ關スル事項

二、蒙疆ノ地位（蒙疆ト國民政府トノ關係）ニ關スル事項

蒙疆ト華北トノ關係調整ニ關スル事項

三、武漢及廈門ト中央政府トノ關係調整ニ關スル事項

四、海南島ト中央政府トノ關係調整ニ關スル事項

五、省政府以下ノ地方政府ニ對スル我方指導機構ノ整理及上級政府

ノ下級政府ニ對スル政令ノ貫徹助長ニ關スル事項

第三、國民政府ハノ敵産移管ニ關スル事項

第四、國民政府ノ自衛方策及戰爭協力ニ關スル事項

一、中央政府及地方政府ノ機構及陣容ノ整備強化ニ關スル事項（支

那側措置ヲ含ム）

二、國民政府ノ財政自衛方策及之ニ對スル我方ノ援助ニ關スル事項

（支那側措置ヲ含ム）

- 8
- 三、支那側ノ生産増強方策ニ關スル事項（支那側措置ヲ含ム）
 - 四、戰爭目的ニ對スル支那側官民認識ノ普及ニ關スル事項（支那側措置ヲ含ム）
 - 五、支那側ノ治安維持強化方策ニ關スル事項（支那側措置ヲ含ム）

9

第五、經濟施策ニ關スル事項

- 一、占據地域内緊要國防物資ノ重層的且效率的取得ニ關スル事項
- 二、敵方物資ノ積極的獲得及戰爭必需物資ノ對敵流出阻止ニ關スル事項

三、物資統制ノ合理化ニ關スル事項

四、一般物資ノ生産配給等ニ付テノ支那側ノ參加均濟ニ關スル事項

五、物資買上價格ノ適正化ニ關スル事項

六、合辦會社ノ調整ニ關スル事項

4

第六、國論指導及對外啓發ニ關スル事項

一、一般國論指導ニ關スル事項

在留民指導ニ關スル事項

15

極秘

昭和十八年一月

租界還付及治外法權撤廢等ニ關スル日英間
協定ノ實施計畫大綱(案)

11

5

ニ支那和平地區ニ對スル啓發ニ關スル事項

對重慶宣傳ニ關スル事項

大東亞諸地域其ノ他外國一般ニ對スル宣傳ニ關スル事項

三五旗表更件對外的ニ徹底セシムルニト

第七、在支失業業者救恤ノ件

第一、帝國專管租界還付實施

一、協定第二條ニ依ル委員ノ任命

(イ) 委員ノ數ハ日華双方各四名宛ト豫定シ速ニ國民政府ト協議ノ上之ヲ決定スルコト

(ロ) 日本側委員ハ南京駐在公使、北京駐在公使、上海駐在公使及

南京大使館首席參事官ト豫定シ速ニ任命手續ヲ執ルコト

三、實施細目

實施細目ニ關シテハ協定ノ本旨及「大東亞戰爭完遂ノ爲ノ對支處理根本方針」ノ趣旨ニ則リ各地租界ノ實情ヲ斟酌シ概ネ左ニ準據シ我方具體案ヲ策定シ支那側ト協議ノ上所要ノ細目取極ヲ締結スルコト

(イ) 租界行政權ハ協定ニ基キ支那側ニ還付スルモノナルニ由リ租

界内支那人及非治外法權國人ニ對スル警察權及課稅權竝ニ道路・橋梁・碼頭・堤防・公園等ニ對スル管轄權其ノ他既存ノ各居留地取極ニ基ク一切ノ行政權ハ何等ノ留保ナク之ヲ支那

側ニ委讓スルコト

支那側ニ引渡スヘキ公共施設ニ關シテハ成ルヘク無償トシ之カ利用ニ付日本側ニ於テ特別ノ便宜ヲ享受シ得ル如ク措置スルコト

租界行政ニ關スル文書類悉所要ニ應シ支那側ニ引繼クコト

(ロ) 舊租界内ニ於ケル土地建物等不動産ニ關スル邦人ノ權利ノ享
有利益ノ享受ヲ確保スル爲所要ノ措置ヲ講スルコト

△支那側取極

△土地三項
1. 租界内ノ土地
2. 租界内ノ建物
3. 租界内ノ不動産

開埠地ノ範圍ハ舊租界所在都市ノ全領域ニ亘ルコトヲ明確ニシ該領域内ニ於テ邦人ノ土地權享有ラ正式ニ認メシムル如ク措置スルコト

其他條上ノ権利

(ハ) 治外法權ニ基ク諒稅權問題ノ處理カ租界遷付實施後トナル場合天津及漢口等ニ於テハ民團又ハ民會課金收入中ヨリ一定額ヲ支那側ニ寄附シ舊租界ノ地方的行政ニ要スル經費支辨ニ充當セシムルコト

邦人子孫教育

右ニ關シテハ民團又ハ民會ハ支那側ヨリ會計報告ヲ受クルヲ得シムルコト

(ニ) 前三項等ニ關聯シ民團又ハ民會トノ關係ニ付所要ノ調整ヲ加フルト共ニ關係法令ニ付所要ノ整理ヲ行フコト

(ハ) 遷付後舊租界ハ孰レモ之ヲ特別ノ行政區トスルコトナク當該市政府ノ一般行政機構中ニ編入スルコト

三、遷付實施ノ時期

遷付實施ノ時期ハ各租界全部同時ニ且遅クモ本年三月三十日トシ夫レ迄ニ支那側トノ間ニ實施細目ニ付テノ協議決定ヲ了スルコト

第二、上海共同租界回收實施

一、回收實施要目

上海共同租界ノ回收實施ニ關シテハ協定ノ本旨及「大東亞戰爭完遂ノ爲ノ對支處理根本方針」ノ趣旨ニ則リ概ネ左ニ準據シ我方具體案ヲ策定シ支那側ト協議ノ上所要ノ取極ヲ締結スルコト

(1) 共同租界行政權ハ協定ニ基キ國民政府ニ於テ回收スルコトヲ承認セルニ由リ共同租界土地章程及附則等ニ基キ從來工部局ノ執行シ來レル一切ノ行政權（越界路管轄權ヲ含ム）ハ支那側ニ於テ委讓ヲ受クルモノトスルコト

工部局ニ屬シタル一切ノ公共施設ハ支那側ニ於テ引渡ヲ受クルモノトスルコト

20

1

工部局ノ文書類ハ支那側ニ於テ引繼ヲ受クルモノトスルコト

工部局ノ資産負債ハ支那側ニ於テ繼承スルモノトスルコト

(2) 舊租界ノ内外ニ於ケル土地建物等不動産ニ關スル邦人ノ權利ノ享有利益ノ享受ヲ確保スル爲所要ノ措置ヲ講スルコト

外國人名義ナルモ事實上支那人ノ所有ニ屬スル土地建物等ニ付テハ當該支那人ノ正當利益保護ニ遺憾ナカラシムルコト

(3) 租界回收實施カ治外法權ニ其ク詭託問題處理以前ニ行ハルル場合民國課金收入中ヨリ一定額ヲ支那側ニ寄附シ主トシテ舊租界及舊越界路地區ノ地方的行政ニ要スル經費支辨ニ充當セシムルコト

21

右ニ關シ民國ハ支那側ヨリ會計報告ヲ受クルヲ得シムルコト

支那側ニ於テ日本人以外ノ外國人側ヨリモ從來工部局ニ於テ
徵收シタルト概ネ同様ノ稅收ヲ舉ケ得ル如ク措置セシムルコ
ト

22

8

(二)舊租界及舊越界路地區(佛租界返還ノ場合ハ同地區ヲモ併セ)
ハ概ネ左ニ濼リ上海特別市ニ編入スルコト

(1)舊租界及舊越界路地區ニ對スル行政組織ハ上海特別市政府
ノ組織系統ノ中ニ統合ス

右ニ伴ヒ市政府ノ中樞部組織ヲ強化スル爲所要ノ措置ヲ孰ル
(2)市政府管下ノ分區ハ現状ニ從ヒ市中心區、閘北區、滬西區、
南市區、浦東南區、浦東北區、寶山區、嘉定區、北橋區、
奉賢區、南滄區、川沙區、崇明區トシ舊租界(佛租界返還
ノ場合ハ同地區ヲモ併セ含ム)及北部越界路地區ト現在ノ
市中心區ハ之ヲ合體シテ新ナル市中心區トシ西部越界路
地區ハ完全ニ滬西區ニ合體セシム

23

(8) 前項ノ新市中心區ノ行政制度ハ從來ノ市中心區同様官治組織トシ自治組織トスルコトナシ

(4) 新市中心區ニ關スル行政部門ニハ回收實施當時ノ工部局職員(歐性國人ヲ除ク)ヲ留ネ其ノ盤收容活用シ行政ノ實施ニ付テハ成ルヘク從來ノ慣例ヲ尊重ス

(5) 前記(1)ノ市政府中樞組織及新市中心區ニ關スル行政部門ノ要部ニハ一定數ノ日本人職員ヲ採用セシム

(6) 市政ニ對スル日本側乃至外國人側要望ヲ發現スル機關トシテ市政府機密中特別ノ諮問機關等ヲ設置セシムルコトナク日本側要望ニ付テハ前記日本人職員ヲ選シ事實上之ヲ反映セシムル外議ヲ在上海公使ヲシテ一元的ニ處理セシム

(7) 上海特別市政府廳舎本館ハ舊租界ニ移ス

(8) 上海ヲ據點トスル日華經濟提携ニ關シテハ當面戰爭遂行ノ必要ヲ充スコトヲ主眼トシ併セテ將來ノ對支經濟國策遂行ニ資スル爲基礎部門トシテ特ニ航運及金融ノ部門ヲ重視シテ施策スルコト肝要ナルニ鑑ミ租界回收實施ニ伴フ上海對策策定ニ當リテハ右ヲ勸策シ遺憾ナキヲ期スルコト

(9) 第三國關係ニ關シテハ國民政府側ヲ援助スル途前ニテ施策スルコト

二、回收實施ノ時期

適クモ七月中ニハ回收實施ヲ見ル如ク諸般ノ準備ヲ進捗セシムルコト

三、支那側トノ協議決定

同收實施ニ關スル支那側トノ協議決定ハ中央ニ於テ決定スル方針ニ基キ在華大使ヲシテ當ラシムルコト

第三 厦門鼓浪嶼共同租界同收實施

一、同收實施要目

厦門鼓浪嶼共同租界ノ同收實施ニ關シテハ協定ノ本旨及「大東亞戰爭完遂ノ爲ノ對支處理根本方針」ノ趣旨ニ則リ概ネ左ニ準據シ我方具體案ヲ策定シ支那側ト協議ノ上所要ノ取極ヲ締結スルコト

イ、共同租界行政權ハ協定ニ基キ國民政府ニ於テ同收スルコトヲ承認サルニ由リ共同租界土地章程及補則等ニ基キ從來工部局ノ執行シ來レル一切ノ行政權ハ支那側ニ於テ委讓ヲ受クルモノトスルコト
工部局ニ屬シタル一切ノ公共施設ハ支那側ニ於テ引渡ヲ受ク

ルモノトスルコト

工部局ノ文書類ハ支那側ニ於テ引繼ヲ受クルモノトスルコト

工部局ノ資産負債ハ支那側ニ於テ繼承スルモノトスルコト

ロ、舊租界ノ内外ニ於ケル土地建物等不動産ニ關スル邦人ノ權

利ノ享有利益ノ享受ヲ確保スル爲所要ノ措置ヲ講スルコト

ハ、租界内收實施カ治外法權ニ基ク課税問題處理以前ニ行ハル

ル場合民會課金收入中ヨリ一定額ヲ支那側ニ寄附シ主トシテ

舊租界地域ノ地方的行政ニ要スル經費支辨ニ充當セシムルコ

ト

右ニ關シ民會ハ支那側ヨリ會計報告ヲ受クルヲ得シムルコト

支那側ニ於テ日本人以外ノ外國人側ヨリモ從來工部局ニ於テ

徵收シタルト概ニ同様ノ稅收ヲ擧ケ得ル如ク措置セシムルコ

ニ、舊租界ハ概ネ左ニ據リ廈門特別市ニ編入スルコト

(1) 舊租界ニ對スル行政組織ハ廈門特別市政府ノ組織系統ノ中

ニ統合ス

右ニ伴ヒ市政府ノ中樞部組織ヲ強化スル爲所要ノ措置ヲ執

ル

(2) 舊租界ニ關スル行政部門ニハ同收實施當時ノ工部局勤務ノ

日本人其ノ他職員（敵性國人ヲ除ク）ヲ概ネ其ノ儘收容活

用シ行政ノ實施ニ付テハ成ルヘク從來ノ慣例ヲ尊重ス

(3) 市政ニ對スル日本側乃至外國人側要望ヲ發現スル機關トシ

テ市政府機構中特別ノ諮問機關等ヲ設置セシムルコトナク

日本側要望ニ付テハ前記日本人職員ヲ通シ稟請上之ヲ反映

30
ハシムル外總テ在厦門總領事ヲシテ一元的ニ處理セシム
ホ、第三國關係ニ關シテハ國民政府側ヲ援助スル建前ニテ施策
スルコト

二、厦門調整トノ關係

共同租界回收實施ト同時ニ國民政府ト厦門特別市トノ關係調整
ヲ實行スルコト

三、回收實施ノ時期

週クモ三月三十日迄ニハ回收實施ヲ見ル如ク措置スルコト

四、國民政府側トノ協議決定

回收實施ニ關スル國民政府側トノ協議決定ハ中央ニ於テ決定ス
ル方針ニ基キ在華大使ヲシテ當ラシムルコト

31
第四、北京公使館區域回收實施

一、回收實施要目

北京公使館區域ノ回收實施ニ關シテハ協定ノ本旨及「大東亞戰
争完遂ノ爲ノ對支處理根本方針」ノ趣旨ニ則リ概ネ左ニ準據シ
我方具體案ヲ策定シ支那側ト協議ノ上所要ノ取極ヲ締結スルコ
ト

イ、公使館區域行政權ハ協定ニ基キ國民政府ニ於テ回收スルコ
トヲ承認サルニ由リ北清事變ニ關スル最終議定書等ニ基キ執
行シ來レル一切ノ公使館區域行政權ハ支那側ニ於テ委讓ヲ受
ケルモノトシ同區域ハ北京特別市ノ行政組織系統ニ統合スル
コト

道路、下火、障壁、隙地等ノ各國共同財産ハ支那側ニ無償委讓スルコト

ロ、各國大使館ノ土地建物及各國公私人ニ屬スル土地建物ハ當然之ヲ保留シ右不動産ニ關スル權利ノ享有利益ノ享受ヲ確保スル爲所要ノ措置ヲ講スルコト

ハ、帝國ノ屬スル限り常置護衛兵ヲ置クノ權利ニハ此ノ際特ニ觸レザルコトトスルモ第三國則ニ於テ右權利ヲ拋棄スルコトハ寧ロ望マシク又我方トシテモ適當ノ時期ニ右權利ハ一方的ニ拋棄スルコトヲ考慮スルコト（右權利及北清事變最終議定書第九條ニ基ク駐兵權ヲ拋棄スルモ日華基本條約ニ基ク所謂防共駐兵權ハ別個ニ存在スルコト勿論ナリ）

ニ、回收實施ノ時期

邁クモ三月三十日迄ニハ回收實施ヲ見ル如ク措置スルコト

三、國民政府側トノ協議決定

回收實施ニ關スル國民政府側トノ協議決定ハ中央ニ於テ決定スル方針ニ基キ在華大使ヲシテ當ラシムルコト

第五、治外法權撤廢實施

一、協定第六條ニ依ル委員ノ任命及專門委員會設置

イ、委員ノ數ハ日華双方各六名宛ト豫定シ速ニ國民政府ト協議ノ上之ヲ決定スルコト

ロ、日本側委員ハ南京駐在公使、北京駐在公使、張家口駐在公使、上海駐在公使、南京大使館首席參事官及本省派遣官（一名）ト豫定シ速ニ任命手續ヲ執ルコト

ハ、專門委員會ノ權限等ニ付テハ所要ニ應シ別送セラルコト

ニ、實施段階

事項別（課稅權、警察權、裁判權等）ニ依リ段階的ニ處理スルモノトシ先ツ課稅權ニ關スル事項ヨリ着手スルニト

三、課稅權處理

課稅權處理ニ關シテハ先ツ專門委員會ヲシテ具體案ヲ審議作成

セシムルモ右具體案作成ニ關スル我方腹案ハ概ネ左ニ依ルコト

イ、日本國臣民カ中華民國領域内ニ於テ中國側課稅ニ服スルノ

原則ヲ認ムルモノトスルコト

右原則ヲ認ムルト共ニ日本國臣民ノ服スヘキ課稅法令ノ範圍

及其ノ適用ノ態様ハ豫メ在華帝國大使ト國民政府外交部長ト

ノ間ニ協議決定ヤラルヘキモノトスルコト

ロ、前項ニ依リ第一次ニ承認スヘキ課稅ハ概ネ左ノ種類ノモノ

ト豫定スルコト

(1) 消費税の性質ヲ有スルモノ（統税、生産税、製造税、出
 納税、鑛産税、煙酒税等ノ名ニ於テ課セラルル消費税的
 税種）

(2) 受益者負擔ノ性質ヲ有スルモノ（家屋税、車輦税、地稅、
 鑛區税、衛生費、街燈費等ノ名ニ於テ課セラルル受益者
 負擔ノ性質ヲ有スト認メラルル税種）

(3) 手数料又ハ使用料的性質ヲ有スルモノ（登記費、清文費、
 檢驗費等ノ名ニ於テ課セラルル手数料的税種其ノ他實質
 上使用料ト認メラルル税種）

(4) 其ノ他印花稅、通行稅等

ハ、承認スヘキ税種ニ付テハ地方稅ト雖モ出來得ル限り統一

的課稅タラシムルモノトシ個々ノ課稅ノ實施ハ右統一の課稅
 ノ準備成ルヲ俟テ之ヲ爲スコト

ニ、警察權及裁判權撤廢ニ至ル迄ハ支那側課稅ノ徵收ハ強制執

行權ヲ伴ハサルモノトシ我方承認ノ課稅ニ付テハ日本側法令
 （省令ヲ豫想ス）ヲ以テ右支那側課稅ニ服スヘキ旨及違反者

ハ處罰セラレヘキ旨ヲ規定シ實效ヲ期スルモノトスルコト
 ホ、從來納付ヲ默認シ來レルモノハ正式承認ニ至ル迄其ノ儘默

認ニルコト

四、課稅權處理ニ關スル取極締結

前記課稅權處理ニ關シテハ本年七月末迄ニ正式取極ヲ締結スル
 モノトシ從テ右取極締結ノ參考ニ資スヘキ專門委員會審議ノ具

極秘

大東亞戰爭完遂ノ爲ノ對支新國策ニ關スル宣傳
及指導方針(案)

（この案は及
了の案）

第一、方針

- 一、國民政府參戰ヲ以テ日支間局面打詰ノ一大轉機トシ專ラ國民政府ノ政治力ヲ強化スルト共ニ重慶抗日ノ根據名目ノ覆滅ヲ圖リ眞ニ更新支那ト一體戰爭完遂ニ邁進スルノ帝國國策ニ即應シ
 - (一) 更新支那ノ對日戰爭協力ノ促進
 - (二) 國民政府政治力ノ強化
 - (三) 重慶抗日根據ノ覆滅
- ヲ目標トシ併セテ大東亞諸民族ノ對日信賴感ノ誘發ヲ期シ宣傳ヲ強化ス

三、^{日本}國民ノ間ニ前記帝國國策ノ趣旨ヲ徹底セシムル機關ヲ指導ス

第二、要領

- 一、國民政府ノ參戰ハ帝國ノ意欲セルモノニ非シテカ中國國民ノ總意ニ出テタルモノナルコトヲ明明ス
- 之カ爲特ニ參戰前ニ於テ
- イ、支那側ヲシテ參戰ニ對スル民意ヲ統一セシメ、參戰要望氣運ヲ醸成スル如ク具體指導ヲ爲ス
- ロ、我方ニ於テハ積極的宣傳ヲ進メ
- 今後當分ノ間從來通り參戰ヲ指示スルカ如キ記載ハ之ヲ禁止ス
- 參戰陣近ニ至リ支那側宣傳ヲ承ケタル受動的報道ヲ止ム
- ニ米英ノ恣格ヲ脱シ新中國ヲ建設スル爲ニハ日本ト同甘共苦戰爭

ヲ完遂スル外遂ナキコトヲ支那側ヲシテ認識セシムル如ク宣傳

三 國民政府ノ政治力強化助成ノ爲帝國ノ執ルヘキ諸方策ノ實施ニ

伴ヒ帝國ノ公正ナル態度ヲ闡明シ、特ニ中國民衆ヲシテ、帝國

ノ日支提携ニ對スル誠意ヲ信譽セシムル如ク宣傳ス但シ支那側

四 重慶側抗日ハ日支提携ノ根本精神ニ則ル兩國新關係ノ展開ニ依

リ、其ノ根柢名目ナカリシコト愈々明白トナリタルコトヲ指摘

宣傳ス

五 帝國ノ米英ニ對スル政略兩略ノ必屈不敗ノ態勢ヲ特ニ重慶側ニ

對シ強詢宣傳ス

六 大東亞諸民族ニ對シ今次對支措置ニ於テ實證セラレタル大東亞

建設ニ對スル帝國ノ誠意ヲ認識セシムルト共ニ米英ノ壓迫下ニ

在ル其ノ他諸民族ヲシテ帝國ノ眞實ヲ認識セシメ惹キ其ノ反米

英意識ノ覺醒昂揚ノ效果ヲ登クルニ努ム

七 支那側宣傳モ亦前記我方施策ニ呼應セシムル如ク、
自ラ其ノ利益ヲ保護スルニ努ムルコトヲ宣明ス

八 國民ノ間ニ今次對支措置ハ區々タル權益等ニ拘泥スルコトナク

大乗的ニ日支局面ヲ打開シ眞ニ更新支那ト一體トナリ米英ニ對

スル共同戰爭ヲ完遂スル爲必要ナル積極的措置ニシテ特ニ綜合

戦力ヲ積極的ニ増強セントスルモノナルコトヲ徹底シ、
支那側ノ利益ヲ保護スルニ努ムルコトヲ宣明ス

支那側ノ利益ヲ保護スルニ努ムルコトヲ宣明ス

支那側ノ利益ヲ保護スルニ努ムルコトヲ宣明ス

支那側ノ利益ヲ保護スルニ努ムルコトヲ宣明ス

九本件實施ニ當リテハ關係各廳（取締機關ヲ含ム）ノ思想統一ヲ
期ス
ルト共ニ相互ニ緊密ナル連絡ヲ遂ケ實效ヲ期スルニ遺憾ナキヲ

國民政府參戰ニ伴フ措置ニ關スル件（案）

（昭一七一、一五支總）

一、新約定、締結

（一）參戰ト同時ニ帝國政府ト國民政府トノ間ニ戰爭完遂ニ關スル條約ヲ締結ス

新條約、内容ハ概ネ左ノ如キモノトス

（イ）中華民國ハ帝國ノ大東亞ニ於ケル新秩序建設ニ關シ指導的地位ヲ認メ且之ヲ尊重ス

（ロ）（イ）ノ目的ヲ達成スル爲兩國ハ有ラユル軍事的、政治的、經濟的及文化的方法ニ依リ相互ニ援助スヘキコトヲ約ス
前項相互援助ノ細目ハ兩國ノ權限アル官憲間ニ於テ協議決定セラルヘシ

（ハ）兩國ハ相互ノ完全ナル了解ニ依ルニ非サレハ米國及英國ノ何レトモ休戰又ハ講和ヲ爲ササルヘキコトヲ約ス

九本件實施ニ當リテハ關係各廳（取締機關ヲ含ム）ノ思想統一ヲ
期ス
ルト共ニ相互ニ緊密ナル連絡ヲ遂ケ實效ヲ期スルニ遺憾ナキヲ

國民政府參戰ニ伴フ措置ニ關スル件（案）

（昭一七一一一五支總）

一、新約定、締結

（一）參戰ト同時ニ帝國政府ト國民政府トノ間ニ戰爭完遂ニ關スル條約ヲ締結ス

新條約ノ内容ハ概ネ左ノ如キモノトス

（イ）中華民國ハ帝國ノ大東亞ニ於ケル新秩序建設ニ關シ指導的地位ヲ認メ且之ヲ尊重ス

（ロ）目的ヲ達成スル爲兩國ハ有ラユル軍事的、政治的、經濟的及文化的方法ニ依リ相互ニ援助スヘキコトヲ約ス
前項相互援助ノ細目ハ兩國ノ權限アル官憲間ニ於テ協議決定セラルヘシ

（ハ）兩國ハ相互ノ完全ナル了解ニ依ルニ非サレハ米國及英國ノ何レトモ休戰又ハ講和ヲ爲ササルヘキコトヲ約ス

(二) 兩國ハ戦争ヲ勝利ヲ以テ終結シタル後ニ於テモ日華基本條約及前記(イ)ノ意義ニ於ケル大東亞ニ於ケル新秩序建設ノ爲最モ密接ニ協力スヘキコトヲ約ス

(三) 前記(一)ノ(四)第二項相互援助ノ細目中參戰ト同時ニ協定スヘキ事項ハ概ネ左ノ如キモノトス

右各事項ハ必要ニ應シ分割シテ協定セラレヘク且何レモ公表セサルモノトス

甲、軍事的事項

(イ) 兩國ハ共同シテ中華民國ノ國土防衛ニ當ル仍テ兩國軍隊カ共同シテ作戦行動ヲ執ル場合ニ於テハ日本軍司令官之カ指揮ニ任スルモノトシ之カ爲豫メ日本人軍事顧問ハ中國軍隊ノ組織、訓練等ニ付共同作戦上必要ナル援助乃至協力ヲ爲スヘシ

(ロ) (交通通信ニ關スル特殊事態ノ存續期間ニ關スル事項)

乙、政治的事項

(イ) 兩國ハ日華基本條約附屬議定書第一條ニ謂フ「日本國カ中華民國領域内ニ於テ現ニ遂行シツアル戦争行爲」トハ大東亞戦争發生ニ伴フ戦争行爲ヲモ包含スルモノト解釋スルコトニ同意ス

(ロ) 中華民國ハ海南島及附近ノ諸島嶼ノ軍事的重要性ニ鑑ミ共同國防ノ精神ニ基キ之ヲ特殊合作地域トシ帝國カ右地域ニ於テ其ノ必要ト認ムル措置ヲ執ルコトヲ承認ス但シ帝國ハ右地域ニ對スル中華民國ノ領土主權ヲ尊重シ且之ヲ保障ス

(三) 中華民國ハ舊九龍租借地ノ軍事的重要性ニ鑑ミ且日本軍カ多大ノ犠牲ヲ拂ヒ同租借地ヨリ英國ノ勢力ヲ一掃シタル事實ニ顧ミ之ヲ特殊合作地域トシ帝國カ右地域ニ於テ其ノ必要ト認ムル措置ヲ執ルコトヲ承認ス但シ帝國ハ右地域ニ對スル中華民國ノ領土主權ヲ尊重シ且之ヲ保障ス

(二) 中華民國ハ國內戰時体制強化ノ爲必要ナル措置ヲ講スヘク帝國ハ右ニ必要ナル援助乃至協力ヲ爲スヘシ

ニ在支敵産ノ處理

昭和十七年九月二十八日大本營政府連絡會議決定「帝國軍ノ作戰地域内ニ於ケル敵國及敵國人財産ノ處理運營ニ關スル件」及目下準備中ノ「在支敵産ノ處理運營要領」ニ準據シ支那ニ在ル敵産中帝國ニ歸屬セシムルモノヲ除キ爾餘ノ敵産ヲ國民政府ニ移管ス
舊敵産ニ付テハ軍事上必要トスルモノヲ除キ原則トシテ之ヲ國民政府ニ移管ス

三、租界ノ處理

(一) 帝國租界ノ還付

參戰ト共ニ帝國ハ在支帝國租界ヲ國民政府ニ還付スル旨ヲ聲明ス右聲明發出後直チニ日華基本條約第八條ニ基キ帝國租界還付ニ關スル日華共同委員會ヲ設置シ成ルヘク速ニ杭州、蘇州、沙市、厦門、福州及重慶ノ六租界還付ノ實現ヲ圖ルト共ニ天津及漢口ノ兩租界還付ニ必要ナル準備ヲ進ム

前項六租界還付ノ時機ハ國民政府參戰後一月以内ヲ目途トスルモ天津及漢口ノ兩租界還付ノ時機ハ後記(二)及(三)ニ關スル施策ノ進捗狀況ト彼此勘考ノ上適當ニ之ヲ定ムルモノトス

(二) 第三國租界ノ處理

佛伊兩國ニ對シテハ帝國ノ措置ニ順應シ其ノ天津、漢口、上海及廣東(佛國)並ニ天津(伊國)ノ各租界ヲ國民政府ニ返還セシムル如ク施策ス

右施策ニ當リテハ前記(一)帝國租界ノ還付就中天津及漢口ノ兩帝國租界ノ還付ヲ最モ有效ニ利用シ以テ第三國租界ノ處理ヲ容易ナラシムルコトニ努ムルモノトス

(三) 共同租界ニ對スル措置

上海共同租界ニ對シテハ速ニ帝國ノ實權ヲ確立スル爲現ニ施策中ノ租界工作ノ急速ナル進展ヲ圖ル

同租界ハ將來適當ナル時機ニ之ヲ國民政府ニ移管スルモノナルモ

差當リハ帝國ノ同盟國及中立國ノ權益ニ關聯深キ問題ナルヲ以テ國民政府トノ關係ノ調整ハ未タ其ノ時機ニ非サルコトヲ同政府ヲシテ諒解セシム

廈門共同租界及北京公使館區域ニ對スル措置モ右ニ準ス

四 香港及九龍^租租借地

國民政府ノ參戰ハ香港割讓ノ事實ニ何等影響ヲ及ホスモノニ非サルヲ以テ敵國領土タル香港ノ我方ニ依ル占領ノ效果ニ何等變更ナキハ勿論ナリ

五 國民政府ノ要望實現

九龍租借地ハ國民政府ノ參戰ニ依リ英支間ノ租借關係消滅スルヲ以テ前記ニ新條約ノ細目ニ關スル協定ニ依リ我方ニ於テ之ヲ確保ス

- (一) 日華基本條約及附屬文書ノ諸規定中前掲舊敵產ノ移管及帝國^租屬界ノ還付ノ外未タ實現ニ至ラサル左ノ各項ハ速ニ之ヲ實行ス
- (二) 國民政府ト蒙古自治政府及華北政務委員會トノ關係ノ調整
- (三) 關稅剩餘ノ歸屬手續ノ調整
- (四) 合併^社會社ノ調整
- (五) 從來國民政府ノ要望シ來レル左ノ各項ハ成ルヘク速ニ之カ實現ヲ圖ル

- (一) 占領地區内物資流通制限ノ撤廢乃至緩和
- (二) 管下各級地方政府ニ對スル國民政府ノ統制力強化
- (三) 武漢地區トノ關係調整

六 治外法權ノ撤廢

治外法權ノ撤廢ハ支那側法制ノ整備及其ノ公正ナル運用ヲ前提トスル外奧地開放ト相關聯スルモノナルヲ以テ速急ナル實現ハ困難ナルモ既ニ基本條約ニ於テ確約セル所ナルノミナラス米英側ノ措置ニモ鑑ミ現實ノ問題トシテ所要ノ研究及準備ヲ進ムルモノトス

極秘

昭和十八年三月十一日
大島五郎

國民政府ト廈門特別市トノ關係調整要領(案)

一、現廈門特別市ハ國民政府ノ市組織法及日華基本條約祕密附屬交換

公文(甲)ニ基キ行政院直屬ノ新特別市トスルモノトス

ニ、現廈門特別市ノ職員ハ成ルヘク新特別市ノ職員トシテ之ヲ引繼ク

市務後ノ引繼件

モノトス

三、從來廈門特別市ト日本側トノ間ニ締結セラレタル諸取極ハ日華基

本條約及附屬諸取極ノ規定ト兩立スルモノヲ除キ之ヲ廢止スルノ

外舊廈門特別市政府ノ辨シタル事項ノ一般的調整ハ日華基本條約

附屬議定書ノ規定ニ依リ處理スルモノトス

目前記諸項ノ調整ハ鼓浪嶼共同租界回收實施ト共ニ本年三月三十日

迄ニ實施スルモノトス

極秘

昭和十八年三月十一日

帝國專管租界還付實施指針要領(案)

第一、方針

帝國專管租界還付實施ニ付テハ「租界還付及治外法權撤廢等ニ關スル日本國中華民國間協定」ノ本旨ニ從ヒ「大東亞戰爭完遂ノ爲ノ對支處理根本方針」ノ趣旨ヲ具現スル如ク其ノ措置内容ヲ定ムルモノトシ還付實施ノ時期ハ各租界全部同時ニ本年三月三十日(國民政府遷都記念日)トス

第二、要領

指針要領ハ概ネ左ニ準據スルモノトス

甲、措置内容協定

一、租界行政權

イ、租界行政權ハ協定ニ基キ支那側ニ還付スルモノナルニ由リ租界内支那人及非治外法權國人ニ對スル警察權及課稅權並ニ道路橋梁等ニ對スル管轄權等既存ノ各層管地政權ニ差ク租界行政權ハ總テ之ヲ支那側ニ還付スルコト
ロ、右ニ伴ヒ

(1)從來租界警察ノ爲使用シ來レル支那人巡捕ハ之ヲ支那側ニ移讓スルコト

(2) 道路、橋梁、下水、溝渠、堤防等ハ之ヲ支那側ニ移譲スル
コト

(3) 租界内支那人及第三國人ヨリ徴收シ來レル民團民會ノ課金
ハ之ヲ廢止スルコト

(4) 租界行政實施ニ關スル文書類ハ所製ニ應シ支那側ニ引續ク
コト

(5) 各地舊日本租界ハ款レモ之ヲ特別ノ行政區トスルコトナク
當該市政府ノ一般行政機構中ニ編入スルコト

舊日本租界以外ノ租界ニ付テモ右ト同様ノ措置ヲ取ラシ
ムルコト

三 民團民會トノ關係

イ、租界還付實施ニ伴ヒ民團民會關係ニ付テハ前項ニ依リ措置
スルモノノ外治外法權ニ基ク課稅問題ノ處理ヲ見ルニ至ル迄
天津及漢口等ニ於テハ民團又ハ民會ノ課金收入中ヨリ一定額
ヲ支那側ニ寄附シ舊租界ノ地方的行政ニ要スル經費支辨ニ充
當セシムルコト
右ニ就シ民團又ハ民會ハ支那側ヨリ會計報告ヲ受クルヲ得シ
ムルコト

ロ、天津民團經營ノ公共的事業中
及水道ニ付テハ從來ヨリ民團經營ノ形態ヲ取ルニ付テハ民團財政的基礎并ニ
(1) 電氣事業ハ成ルヘク遠ニ該地方ノ電氣事業經營主體ニ轉
北電業)ニ有償移讓スルコトヲ豫メ措置ヲ構ハント

(2) 水道事業ハ成ルヘク速ニ當該地方ノ制氣事業經營主體トシテ

津濟安自來水公市ニ有債移讓スルコト

(2) 埠頭ニ付テハ將來適當ノ時機ニ支那側ニ有債移讓スルカ又

ハ適當ノ經營者ニ拂下セラルコト等ヲ考慮スルモ何レノ場合

ニ於テモ日本側ニ於テ之カ使用ニ付特別ノ便益ヲ享受シ得

ル如ク措置スルコト

(3) 既設公園ノ經營ハ支那側ニ移讓セサルコト

三 不動産ニ關スル權利

舊租界内ニ於ケル土地建物等不動産ニ關スル邦人ノ權利利益ノ

享受ニ付遺憾ナカラシムルコト

開埠地ノ範圍

舊租界所在地方ノ開埠地ノ範圍ハ所在都市ノ全區域ニ亘ルコト

ヲ指シテモ、租界内ニ於テ邦人ノ土地ニ關スル權利業ノ地居住

營業等ニ關スル條約上ノ權利ノ享有ヲ支那側ヲシテ承認セシメ

ルコト

乙、實施細目ニ關スル支那側トノ協議決定

一、細目取極ノ内容

租界行政權移行實施ニ關シテハ、該詔甲ニ規定セラレタル各項ノ

趣旨ヲ實現スルコトヲ目的トシ、右ノ中支那側ト協議決定ヲ要ス

ルモノニ付細目取極ヲ締結スルコト

二、細目取極ノ形式

細目取極ノ形式ハ委員ノ處置ニ一任スルモノトシ各事項ノ細部ニ關シテハ所屬ニ應シ各境界所在地日支當該官意間ニ協議ノ結果ヲ日支双方ノ委員ニ於テ確認スルノ方式ヲ執ルヲ妨ケサルコト

6
0
秘

Shane

國民政府ノ地方政府ニ對スル關係調整要領(案)

昭一八三三

第一方 針

國民政府ノ地方政府ニ對スル關係調整ニ就テハ「大東亞戰爭完遂ノ爲
ノ對支應策根本方針」ニ基キ日華基本條約及附屬諸地種ニ反セサル範
圍ニ於テ成ルヘク速カニ極力地方的特殊性ヲ調整シ國民政府ノ地方政
府ニ對スル指導ヲ強化セシム
此ノ際特ニ中央地方相互間ニ無用ノ摩擦、感情的相剋ナカラシムルノ
ヲ進メテ平和的雰囲気ヲ醸成セシメ以テ中央地方共ニ更新支那ノ精
成分子トシテ協心戮力戰爭完遂ニ邁進セシム

第二要 領

一、北 支

1. 華北政務委員會ト中央トノ權限關係ヲ明確ナラシムル外東亞聯盟
國民黨、新民會間ノ關係ノ調整、國旗勳章ニ關スル地方的制限ノ
撤廢、中央トノ人事ノ交流等日華基本條約附屬交換公文(甲)ニ
定ムル範圍内ニ於テ中央政府トノ關係ヲ更ニ緊密ナラシムル如ク
所要ノ措置ヲ講ス
2. 河南省ハ當分ノ簡華北政務委員會ノ管轄トス
3. 蘇淮地區ハ北支ノ經濟進歩ヲ充足セシムル限度ニ於テ國民政府ノ
直轄地域タラシムル如ク現状ニ所要ノ修正ヲ加フ
4. 北中支間ノ物資交流ヲ圓滑ナラシムル爲速カニ爲替決済方法ヲ確
定ス

5 通貨、交通、通信等ニ就テハ差當リ現状ヲ存続スルモ將來之カ統
合ヲ考慮ス

三蒙 疆

1 蒙古聯合自治政府ト國民政府トノ關係調整ニ就テハ概ネ現状ヲ維
持セシムルモ特ニ日本側ニ於テ仲介斡旋シ兩者ノ感情衝突スルカ
如キコトナカラシム

2 蒙疆ニ於テハ所要ニ應シ中華民國國旗ヲ蒙古旗ト併置使用シ域外
ニ於テハ蒙古旗ヲ國旗ト對立的ニ使用セシメス

3 北支トノ經濟關係ヲ更ニ緊密圖滑ナラシムル如ク施策ス

三武漢及廣東等

1 極力中央政令ノ滲透ニ努メシムルモノトシ速カニ財政ノ中央化ヲ

圖ル

2 成ルヘク速カナル時期ニ於テ江西省ノ設置ヲ豫定ス

3 速カニ浙東地區（舟山列島ヲ含ム）ヲ完全ニ國民政府ノ管轄地域
ニタラシム

4 支那側ノ創意ト責任トニ於テ其ノ自發的活動ヲ促進シ國民政府ノ地

方政府ニ對スル指導ヲ強化スル爲

1 軍ノ中隊制ノ廢止ニ關スル指導乃至要求ハ作戦準備ニ關スル事項

ニ限定シ軍以上ノ司令部ニ於テ行フ本則トス

右ノ指導乃至要求（純作戦警備事項ヲ除ク）ハ成シ得ル限り現地

大東亞省機關ヲ通スルモノトス

104

兵團以下ノ軍隊（憲兵隊ヲ含ム）ノ中隊備隊ニ歸スル指導乃至
要求ハ軍以上ノ司令部ヲ經由シテ行フモノトス但シ作戦發働上緊
急已ムヲ得サル場合ニ在リテハ此ノ限リニアラス此ノ場合ニ於テ
モ勉メテ特務機關ヲ通スルモノトス

2 特務機關ノ業務ハ作戦發働ニ關スル指導乃至要求ニ當キ中隊側
ノ連絡並ニ調査及情報蒐集事項ニ限定シ省、縣、市等連絡官ヲ廢
止ス

昭和十八、二、十三

極秘

第一、方針

北京公使館區域回收實施措置要領（案）

北京公使館區域行政權ノ支那側ニ依ル回收ノ實施ニ付テハ「租界
還付及治外法權撤廢等ニ關スル日本國中華民國間協定」ノ本旨ニ
從ヒ「大東亞戰爭完遂ノ爲ノ對支處理根本方針」ノ趣旨ヲ具現ス
ル如ク其ノ措置内容ヲ定ムルモノトシ回收實施ノ時期ハ本年三月
三十日（國民政府遷都記念日）ヲ目途トス

關係第三國（伊國、佛國、西國）ヲシテ右ニ同調セシム

第二、要領

措置要領ハ概テ左ニ準據スルモノトス

甲、措置内容概定

一、公使館區域行政權

イ、公使館區域行政權ハ協定ニ基キ國民政府ニ於テ回收スルコトヲ承認セルニ由リ北清事變ニ關スル最終議定書ニ基ク公使館區域行政權ハ總テ支那側ニ於テ回收スルト共ニ公使館區域行政委員會ハ之ヲ解消スルモノトシ同區域ハ北京特別市ノ行政組織系統ノ中ニ統合セシムルコト

ロ、右ニ伴ヒ

(1) 道路、溝渠、橋梁、下水道、障壁、隙地等ノ各國共同財産ハ

支那側ニ於テ無償移讓ヲ受クルモノトスルコト

(2) 舊公使館區域警察巡捕ハ支那側ニ於テ引繼ヲ受クルモノトスルコト

ルコト

(3) 舊公使館區域行政實施ニ關スル文書類ハ所屬ニ應ジ支那側ニ於テ引繼ヲ受クルモノトスルコト

ニ不動産ニ關スル權利

舊公使館區域内ニ於ケル各國大使館所屬ノ土地建物及各區人ニ屬スル土地建物ニ關スル權利利益ノ享受ヲ確保スル爲所要ノ措置ヲ講スルコト

三、在住官民ノ居住、安全、福祉等

イ、支那側ヲシテ舊公使館區域ニ於ケル施政ニ當リ在住官民ノ居住、安全及福祉等ニ付尠クモ從前ノ程度ヲ維持セシムルコト
ロ、右ニ對應シ各國大使館並ニ區域内治外法權國人ヨリ治外

法權ニ基テ課税問題ノ處理ヲ見ルニ至ル迄概ネ從來ノ例ニ依ル
賦課金額ヲ支那側ニ寄附スル如ク所要ノ措置ヲ講スルコト
乙、支那側トノ細目取極

公使館區域行政權回收實施ニ關シテハ前記甲ニ概定セラレタル
各項ノ趣旨ヲ實現スルコトヲ目的トシ右ノ中支那側ト協議決定
ヲ要スルモノニ付細目取極ヲ締結スルコト

丙、第三國關係

關係第三國（伊國、佛國、西國）ヲシテ公使館區域回收承認及
實施細目處理ニ付我方ト同一歩調ヲ執シシムルコト

昭和十八年 二月 十七日

上海共同租界回收實施措置要領（案）

第一、方針

上海共同租界行政權ノ支那側ニ依ル回收實施ハ「租界還付及治外
法權撤廢ニ據スル日本國中華民國間協定」ノ本旨ニ從ヒ「大東亞
戰爭完遂ノ爲ノ對支處理根本方針」ノ趣旨ヲ具現スル如ク其ノ措
置内容ヲ定ムルモノトシ回收實施ノ時期ハ本年七月末ヲ目途トス

第二、要領

措置要領ハ概ネ左ニ準據スルモノトス
甲、措置内容概定

1. 共同租界行政權

イ、共同租界行政權ハ協定ニ基キ支那側ニ於テ回收スルコトヲ承認セルニ由リ上海共同租界土地章程及同補則等ニ基キ從來工部局ノ行使シ來レル一切ノ行政權（越界路管轄權ヲ含ム）ハ支那側ニ於テ回收スルモノトスルコト
コ、右ニ伴ヒ
(1) 舊共同租界工部局勤務者（敵性國人ヲ除ク）ハ協定ノ上概シテ支那側ニ於テ引繼キ主トシテ舊租界ニ關係アル行政部門ニ活用スルモノトスルコト

110
2

(2) 舊共同租界工部局ニ屬シタル一切ノ公共施設並ニ資産負債ハ支那側ニ於テ繼承スルモノトスルコト

(B) 舊共同租界工部局ノ文書類ハ支那側ニ於テ引繼ヲ受クルモノトスルコト

ニ、不動産ニ關スル權利
舊共同租界内（舊越界路地區ヲ含ム）ニ於ケル土地建物等不動産ニ關スル各國及各國人ノ權利利益ノ享受ヲ確保スル爲所要ノ措置ヲ講スルコト（但シ敵産處理ニ付テハ既定方針ニ依ルコト）
外國人名義ナルニ事實上支那人ニ屬スル土地建物等ニ付テハ當該支那人ノ正當利益保護ニ遺憾ナカレシムルコト

8

三、新上海特別市ノ管轄區域及行政機構等
共同租界行政權回收及上海佛租界還付實施後ノ上海特別市ノ管轄區域及行政機構等ニ付テハ支那側ニシテ概ネ左ノ如ク措置セシムルコト

イ、舊共同租界、舊越界路地區及舊佛租界ハ上海特別市ニ編入シ新上海特別市ノ管轄區域ハ右ノ外現狀通トスルコト
ロ、新上海特別市政庁管下ノ區ハ概ネ現狀ニ從ヒ市中心區、滬北區、滬西區、南市區、浦東南區、滬東北區、寶山區、嘉定區、北橋區、奉賢區、南匯區、川沙區及崇明區トシ舊共同租界、舊越界路地區及舊佛租界ト從來ノ市中心區ハ合體シテ新ナル市中

心區トシ西部越界路地區ハ滬西區ニ合體セシムルコト（但シ市管轄區域ノ疆域ヲ縮少セザル限リ鄉村地區等ノ區ノ編合ニ付テハ所要ニ應ジ適宜ノ處置ヲ認ムル餘地ヲ存スルコト）
ハ、新上海特別市政府ノ中樞部組織ヲ強化スルト共ニ新市中心區行政機構ヲ官治組織ノ下ニ統合整備スル爲所要ノ措置ヲ講スルコト（但シ我方ハ市政府機構中日本人乃至外國人ノ参加セル特別ノ議決機關ノ設置ヲ要求スルコトナシ）

119

ニ、新上海特別市ノ行政運用ニ當リテハ廣域大上海ヲ以テ日華
操携具現ノ模範地區タラシムルコトヲ特ニ重視シ之カ爲市政府
與部乃至市中心區行政機構中日華協力上特ニ必要ナル部門ニ所
要ノ人員ヲ本人顧問又ハ職員ヲ招聘採用スルト共ニ市政府當局ト
民間當局トノ定期的懇談會合ヲ設クルモノトスルコト
ホ、新上海特別市政府總舍本館ハ舊租界内ニ移スコト
既舊租界在任者ノ居住、營業、福祉等

イ、支那側ヲシテ舊租界（舊越界路地區ヲ含ム）ニ於ケル施政
ニ當リ在任者ノ居住、營業及福祉等ニ關シ尠クモ從前ノ程度ヲ
維持セシムルコト

ロ、右ニ對シ舊租界（越界路地區ヲ含ム）内日本人其ノ他治外

法權國人ヨリ治外法權ニ基ク課税問題ノ處理ヲ見ルニ至ル迄概
ネ從來ノ租界賦課金額ヲ支那側ニ寄附スル如ク所要ノ措置ヲ講
スルコト

五、公共事業

租界内ニ於ケル廠産タル公共事業（電力、電話、水道、瓦斯、
「バス」、電車等）ノ處理ニ付テハ上海特別市ノ行政的基礎ヲ
モ考慮シ適當ノ措置ヲ講スルコト

乙、支那側トノ細目取極

共同租界回收實施ニ關シテハ前記甲ニ擬定セラレタル各項ノ趣旨ヲ實現スルコトヲ目的トシ右ノ中支那側ト協議決定ヲ要スルモノニ付細目取極ヲ締結スルコト

丙、第三國關係

關係第三國ニ對シテ支那側ニ依ル共同租界回收ニ付所要ノ施策ヲ爲スコト

丁、上海租界關係

上海租界處置ニ關シテハ前記共同租界回收實施措置要領ニ據シ所要ノ施策ヲ爲スコト
備考 日華基本條約附屬秘密交換公文（甲）及「日支新關係」

整ニ關スル協議書類「附屬秘密交換事項（第五）」ニ定メタル日華經濟協議會ノ設置等ニ付テハ將來適當ノ時機ニ考慮スルモノトス

極秘

昭和十八、五、十九

治外法權撤廢ニ關スル件

一、帝國ノ中華民國ニ於テ有スル治外法權ノ撤廢ニ關シテハ先ツ「租界還付及治外法權撤廢等ニ關スル日本國中華民國間協定」第六條ニ基キ專門委員會ヲシテ具體案ヲ審議作成セシム

右專門委員會ニ於ケル帝國委員ニ對スル指導要領ハ差當リ概ネ別紙「治外法權撤廢ニ關スル具體案作成要領案」ニ據ル

二、前記專門委員會ニ於ケル具體案ノ審議作成ヲ俟テ之ヲ參酌シタル上逐次本件ニ關スル帝國政府ノ具體方針ヲ決定シ支那側ト所要ノ取極ヲ締結ス

備考 別紙「治外法權撤廢ニ關スル具體案作成要領腹案」ハ差

當リ主トシテ課税ニ關スル事項ニ限定シタルモ爾他ノ事項即チ警察權ニ關スル事項、裁判權ニ關スル事項及内地開放ニ關スル事項等ニ付テハ專門委員會ニ於ケル審議ノ進捗等ニ應ジ別途所要事項ヲ作案追加スルモノトス

治外法權撤廢ニ關スル具體案作成要領腹案

第一、方針

一、治外法權撤廢ニ關スル具體案ノ内容ハ「租界還付及治外法權撤廢等ニ關スル日本國中華民國間協定」ノ本旨ニ從ヒ「大東亞戰爭完遂ノ爲ノ對支處理根本方針」ノ趣旨ヲ具現スル如ク之ヲ定ム但シ在留邦人ノ生活活動ニ對シ急激ナル變動ヲ與フルカ如キ結果トナラサル様留意スルト共ニ神社、教育、兵事等ニ付テハ所要ニ應シ特別ノ考慮ヲ拂フ

1

二、治外法權ノ撤廢ニ伴ヒ實行セラルルニキ中華民國ニ於ケル内地開

放ニ關スル具體案ノ内容ハ在留邦人ノ安住發展ヲ確保スルモノタラシムル如ク之ヲ定ム但シ日華提携ノ根本精神ニ反スルカ如キ結果ヲ生センメサル様留意ス

甲、實施段階豫想

課税ニ關スル特權、警察權、裁判權等事項別ニ依リ段階的ニ處理スルモノト豫想シ具體案作成ハ先ツ課税ニ關スル事項ヨリ着手スルコト

内地開放ノ實施段階豫想ハ別途定ムルコト

乙、課税問題處理ニ關スル具體案作成

専門委員會ニ於ケル帝國委員ハ具體案ノ審議作成ニ當リ概テ左ノ腹案ヲ標準參考トスルコト

一、中國側課税ノ承認

イ、日本國臣民カ中華民國領域内ニ於テ中國側課税ニ服スルノ原則ヲ認ムルモノトスルコト

右原則ノ承認ハ中華民國トノ條約ニ依ルモノトスルコト

右條約中ニ於テ日本國臣民ノ服スヘキ中國側課税ノ範圍及其ノ適用ノ態様ハ豫メ在華帝國大使ト國民政府外交部長トノ間ニ協議決定セララルヘキモノトスルコト

ロ、前項ニ依リ協議決定セラレタル事項ハ日華双方ニ於テ適當ノ方法ヲ以テ公示スルモノトスルコト

ハ、第一次調整ノ對象タルヘキ課税ニ付テハ在華帝國臣民ノ擔税力及民國税トノ競合等ヲ慎重考慮シ帝國臣民ノ生活活動ニ急

激ナル變動ヲ與ヘサルト共ニ特ニ民國國會ノ教育費ニ重大ナル

支障ヲ來ササル様適當ノ税目及税率ヲ選擇スルコト

要スレハ過渡的輕減税率ノ適用ヲ考慮スルコト

ニ、警察權及裁判權等撤廢ニ至ル迄ハ中國側課税ノ徵收ハ強制

執行權ヲ伴ハサルモノトスルコト但シ之カ實效ヲ期スル爲日本

側ニ於テ省令制定其他適當ナル方法ヲ考慮スルコト

ホ、日本國臣民ノ課税標準決定ニ付テハ其ノ適正ヲ期スル爲日

本人居留民團體等適當ナルモノニ諮問セシムルコトヲ考慮スル

コト

ヘ、中國側課税承認ニ伴ヒ成ル可ク速ニ中國側税制ヲ整備セシ

ムルコト殊ニ中國側ノ當該税制カ今次調整ノ主タル障害ト認メ

ラルヘキ税目ニ付之ヲ促進スルコト

ニ居留民團體ノ課金等ニ關スル事項

イ、所要期間居留民團體ノ課金徴收ノ建前ハ之ヲ存續セシムル

コト但シ逐次左ノ如キ方法ヲ考慮スルコト

居留民會費、學校組合費及寄附金

國策會社ヨリノ寄附金

ロ、前項等ノ場合ニ於ケル收入ノ減少ニ依ル教育費補填ニ付テ

ハ國庫補助金増額ヲ考慮スルコト

三、課税問題處理ニ關スル具體案作成完了時期

前記中國側課税ニ關スル中華民國トノ條約ハ概ネ本年七月末迄

ニ之ヲ成立セシムルモノトシ從テ右條約ノ參考ニ資スヘキ專門

委員會審議ノ具體案ハ概ネ本年五月末迄ニ作成ヲ了スルモノト
スルコト

備考 治外法權撤廢ニ關スル爾餘ノ問題及内訖開放問題ニ付テ
ハ別ニ定ム